

# 『いじめストップあかし』こども会議2017』を開催！！(No.1)

8月2日に市内全小・中学校の児童会・生徒会の代表85名が明石市立勤労福祉会館多目的ホールに集い、架空の事例に基づいて、「お互いがわかりあえるためにはどうしたらたらよいか」「いじめをなくすためにはどういったことができるのか」について、意見交換をしました。(今回が10回目の開催)

## ①司会を務める議長・副議長



＜議長＞  
望海中 生徒会長  
鳴瀬 あいさん

＜副議長＞  
大観小 児童会役員  
中野 開友さん

## ②心のコミュニケーション



目を合わせて、  
にこっ、こんには  
よろしく！  
ハイタッチ♡



ほとんどの人がお互いに初めて出会うという緊張感のある雰囲気の中で、それぞれの参加者はグループの仲間だけではなく積極的に会場内を移動して、ハイタッチをすることで緊張している心をほぐし、明るく話しやすい雰囲気を作り、次のグループ協議へと移りました。

## ③隣り合った中学校区でグループ協議(前半)

協議テーマ「ある中学校での出来事です」  
同じ部活動の先輩タカシくんと後輩マサシくんのはなし

一年生のマサシがお腹を押さえて苦しそうに廊下を歩いていました。すれ違った先生が様子に気づき声をかけました。「どうしたの？何かあった？」うつむいたまま何も答えられないマサシは突然泣き出しました。相談室で話を聞いた先生は「その話は内緒にできないな。それは暴力だよ。」マサシを蹴ったのは部活動の先輩のタカシでした。先生はタカシを見つけて声をかけました。「話がある」

「たいさん」と「たこさん」チームに分かれて「タカシくんとマサシくんの気持ちはどうだったのかな？」「わかりあえるようになるにはどうすればいいのかな？」とグループ内で協議しました。

各自が自分の意見を書いた付箋を大きな紙に貼っていき、次に、同じ意見を集約するために、リーダーがみんなに確認しながら付箋を貼り直す作業をしました。小中学校の垣根を越えて取組やアイデアを整理し、意見をまとめていく様子が見られました。



明石市教育委員会事務局  
児童生徒支援課



# 『いじめストップあかし』こども会議2017』を開催！！(No.2)

## ④グループ協議 (後半)

### 【マサシの気持ち】 抜粋

- ・もう殴られたくない
- ・なかなか言い出せなくてつらかった
- ・先輩に殴られてつらい悲しい気持ち
- ・自分にも悪いところがあった
- ・先生に言うと原因となったこともしわなきやいけなくなる
- ・いじめられているということを知られたくない おおごとにしたくない
- ・お腹も痛いけど、先生が声をかけてくれてよかった
- ・部活に行きたくない
- ・どうして殴られたのか聞いてほしかった
- ・起こったことを内緒にしたいのに、先生は「秘密にしない」と言っていてイヤだ
- ・家族に知られたくない



### 【どうしたらいいだろう】 抜粋

- ・マサシは自分が悪いと強く思っているのに、えらいでも、家族にはちゃんと話すことは大事だと思う
- ・自分たちの言いたいことを優しい言葉で言い合う
- ・それぞれの気持ちを聞き合う
- ・お互いを認め合う
- ・お互いの気持ちをわかってあげ、二人の気持ちを落ち着かせてあげる
- ・お互いの気持ちを話させる
- ・タカシ・・・殴らない マサシ・・・バカにしない
- ・相手の気持ちを考える 言葉、行動に気をつける
- ・話を聞いて相談に乗ってくれる人が必要だと思う
- ・「実は尊敬されたい」という気持ちを伝える
- ・マサシはいじめられそうで、正直にしっかりと自分の気持ちを伝えていないような気がする。それが自由に言えるような環境をつくらなければならないと思う



### 【タカシの気持ち】 抜粋

- ・マサシだって悪いところがあるのに、自分だけが悪いようにされて悔しい
- ・いい先輩になりたい
- ・マサシの気持ちだけでなく自分の気持ちも聞いて欲しい 殴ったのには理由がある
- ・いきなり「正直に話して」と言われても、話しにくい
- ・悪い事をした自覚がある
- ・殴ったけど尊敬されたいと思っている
- ・自分の気持ちを人にははっきりと言えないから、後輩に手を出してしまった
- ・今から謝れば、間に合うかな でもあいつが悪いし
- ・これくらいせなあいつはわからへん おれはなにも悪い事をしてない
- ・マサシが悪いのに、なんでおれが怒られるねん
- ・マサシが先に悪い事をした
- ・後輩からバカにされてイヤ
- ・マサシも謝って欲しい



## ⑤今日の活動の振り返り

「タカシさんとマサシさんがわかりあえるようになるには、どうしたらいいかな？」とのスクールカウンセラーの中村経子(のりこ)先生の言葉に、じっと考えたり付箋に沢山の意見を書いたりしている子どもの様子が見られました。

また、3つのグループの代表が意見を発表してくれました。いじめについて考えることをやめないこと。ずっと考えていくことが大切との言葉をしっかり受けとめ、いじめのない学校づくりを進めていくて欲しいと思います。

## ⑥『いじめストップあかし』こども宣言」唱和

- 一、SOSのサインを見逃しません
- 一、自分の意見をしっかり持ち 周りに左右されません
- 一、いじめている人に注意をできる勇気を持ちます
- 一、人の気持ちを考え言葉を選びます
- 一、相手の良いところを見つけていきます
- 一、一人ひとりの存在を認めることのできる環境を作っていきます
- 一、いじめについて自分たちで真剣に考えていきます
- 一、いじめを許さない心を持ち続けいじめをなくすことを誓います



## ⑦議長・副議長のまとめ

市内の各学校では、いじめをなくし、思いやりあふれる学校にするために児童会・生徒会が中心となって、話し合いや様々な取組が行われています。私たちが自主的に活動し、支え合う仲間をつくっていくことが何よりも大切です。

今日ここに集まった私たちが、「こども会議2017」で得たことを活かし、いじめのない明るい学校をつくっていく中心になっていきましょう。

